

平成 21 年 2 月 1 日

平成 21 年春のスギ・ヒノキ科花粉総飛散量は昨年と比較して、東海および北陸から九州地方で多くなると予測されています。また、スギ花粉の飛散開始日も昨年と比べて 1、2 週間程度早くなる見込みです。今回は「花粉症」について紹介したいと思います。

Q1 花粉症の正体って一体なんですか

花粉症の正体は、花粉に対して人間の体が起こす異物反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状がでます。

Q2 花粉が鼻や目にはいると、どうして花粉症の症状がでるのですか

体が花粉を外に出そうとするために、「くしゃみ」で吹き飛ばしたり、「鼻水」「涙」で花粉を洗い流そうとしているのです。

Q3 花粉症の薬物療法



- (1) 花粉症などアレルギーの病気のとくに体内で増えているアレルギーの細胞を抑える。
 - (2) アレルギーの細胞から症状の原因となる物質（化学伝達物質）が放出されるのを制限する。
 - (3) ヒスタミンをはじめとする化学伝達物質が神経や血管に作用するのをブロックする。
- などの薬物の作用によって、花粉症の症状を和らげようとするものです。

Q4 花粉症がひどくならないためには、普段の生活で何に注意すればいいですか（花粉症のセルフケア）



Q5 早く治療すると、どのようなメリットがあるのですか

花粉症の症状が起こり始めたごく初期では、鼻粘膜にまだ炎症が進んでおらず、この時期に治療を開始すると粘膜の炎症の進行を止め、早く正常化させることができます。このため、花粉症の重症化を防ぐことができます。

<参考>

- ・ <http://www.mhlw.go.jp>
- 厚生労働省>健康>花粉症特集>都道府県等担当者・医療従事者等向けページへ
 - 花粉症一般向けパンフレット『的確な花粉症の治療のために』
 - 花粉症に関する相談マニュアル（Q&A）